

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3119829号
(U3119829)

(45) 発行日 平成18年3月16日(2006.3.16)

(24) 登録日 平成18年2月22日(2006.2.22)

(51) Int. Cl.

F I

G O 8 B 15/00 (2006.01)

G O 8 B 15/00

G O 8 B 25/08 (2006.01)

G O 8 B 25/08

A

評価書の請求 未請求 請求項の数 5 書面 (全 8 頁)

(21) 出願番号 実願2005-7167 (U2005-7167)

(22) 出願日 平成17年8月5日(2005.8.5)

(73) 実用新案権者 501473279

館 公正

神奈川県川崎市高津区新作2-10-1-
103-ルミネ梶ヶ谷

(72) 考案者 館 公正

川崎市高津区新作2丁目10番1-103
ルミネ梶ヶ谷

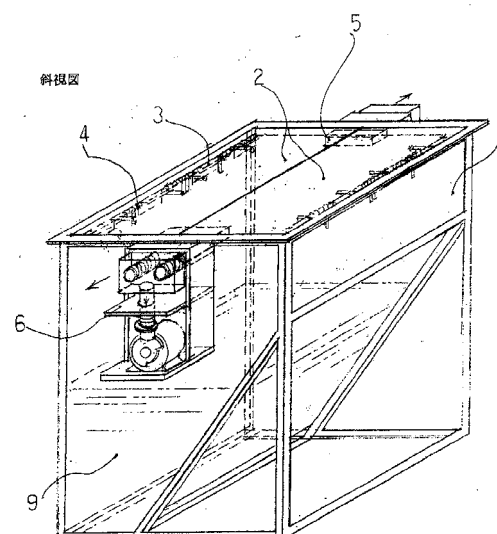
(54) 【考案の名称】 本考案は強盗犯罪及び窃盗犯罪の犯人捕捉と防犯を目的とする落とし穴装置。

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】本考案は日常的に金銭を取り扱う場所、コンビニ店、銀行、パチンコの景品交換所等々で頻発している、強盗、窃盗等の犯罪に対処可能なものでまた犯罪の防犯用としても威力を発揮することを目的とする落とし穴装置を提供する。

【解決手段】2枚板中落ち式スプリング付き落とし穴装置であるこの装置は人が落下した場合、2枚の板が下方に向かって開きスプリングの跳ね上がり力により人は挟まれ状態になるか、完全に閉じ込められた状態になる、スプリングと斜め滑り板と水を溜めること等の相乗効果によって当装置の機能を発揮させる手段とする。

【選択図】図1



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

本考案は強盗犯罪及び窃盗犯罪への対処と犯人の捕捉と防犯及び被害者側の従業員と客の身体生命の保護、又店の財産である金品の保護を目的とする落とし穴装置。大人の全身が入る深さステンレス製の長方形とV型の立方体の箱よりなる本体に、2枚板の中開き式と1枚板の片落とし式のそれぞれの裏面にスプリングを取付け上部の板に乗った人は支え板をスイッチの操作により外すと下方に向け開き落下する、落ちた人はスプリングの反力により板が跳ね上がる事により2枚板の両端に挟まれた状態になるか又完全に穴に落ち閉じ込められ脱出が不可能となる。スイッチの操作により支え板が移動した時に減速機つきのモーターの電源はOFFになる回路とする落とし穴装置。

10

【請求項 2】

落とし穴ボックスの内側中程から対面下部に向けて、約50度の角度をつけた滑り板を取付ける。落下した人間は焦って上部へ逃れようと脱出を試みるが斜めの板の為に足がかりも手がかりもなく、完全に閉じ込められた状態となる脱出困難な落とし穴装置。

【請求項 3】

落とし穴ボックスの中に人の脇の下あたりまで水を溜めておく装置とし落下時の衝撃を和らげると同時に怪我を負うことを防ぐ目的の落とし穴装置。

【請求項 4】

夜間店舗や事務所が留守になる場合、落とし穴装置に夜間のみ落とし穴用の板の支え板をフリーの状態にしておき装置に乗れば落下するようにしておく、装置は壁を背にした金庫や宝石店の貴重品入れの前と両横に設置しておき侵入した犯人が狙う対象物に触れさせない事を目的とし、留守番と防犯の役目を目的とする落とし穴装置。

20

【請求項 5】

本考案の設置した店舗、事務所、には当考案の設置済みの印を敢て掲げて衆知させ全ての請求項には自動通報装置と警報装置をセットし即時通報する。

当考案は被害側には、客と従業員の安全確保と店の財産保護を目的とする。

加害者には当装置にはまったら、身柄拘束は免れない。

以上の請求項1、2、3、4、から構成され又組み合わせられる装置で各項の機能が犯罪に対処出来又防犯に寄与することを目的とする落とし穴装置。

【考案の詳細な説明】

30

【技術分野】**【0001】**

本考案は単純な落とし穴の技術を利用した強盗犯人及び窃盗犯人の捕捉と防犯を目的とするが、被害者の身体生命財産の保護も併せて大きな目的とする。当技術はその中身より犯罪関係の技術分野である。

【背景技術】**【0002】**

この技術は昔から落とし穴として存在しているが、犯罪対策、防犯対策、被害者対策として利用されているとは余り聞かない。

現在の世の中で強盗及び窃盗の犯罪を聞かない日はない、人を殺してまで金品を強奪する事件が頻発している、特にコンビニ店とか宝石店、パチンコ景品交換所、銀行等現金取り扱い場所で多く発生している。

40

本考案の背景技術はこの様な場所、このような事件への対処が大きく影響しており、考案されたものである。

強盗犯や窃盗犯の捕捉、事前の防犯、店の従業員と客の安全と安心の確保及び店の財産保護を目的とすることが背景技術にある。

【考案の開示】**【考案が解決しようとする課題】****【0003】**

本考案の装置は金銭授受の現場での強盗犯罪、窃盗犯罪への対処と対策として防犯という

50

課題の解決と被害者の安全と安心の確保という最大の課題を解決しようとするもので店側の身体生命財産の保護と言う課題を本考案が解決しようとするものである。

【課題を解決するための手段】

【0004】

課題を解決する為の手段は設置場所、操作性、落下後の通報装置及び事件を未然に防ぐ為の防犯装置も併設し、殺傷を防ぐ事も可能とする。

この装置の設置場所は金銭授受のレジカウンターの前、金銭保管の金庫前及び出口ドアの手前とし犯人が立ち寄る所と通る所等が大切な手段となる。

操作はレジの中とか周辺とし、犯人に分からない所にスイッチをセットする。

操作も秘密裏に行なえ手又足でも操作可能なものとする。

10

落下後の通報は落下装置と連動させ、警備会社又警察へ即通報する装置とする。

防犯はこの装置の設置店であることが外部、内部で1目瞭然となる目印を付け犯人が犯行を留まる事につなげる又客、従業員、は安心して買い物が出来るし従業員も安心して働ける、店としてはお金や物品を取られないで済む。

これら全てが課題を解決する為の手段である。

【考案の効果】

【0005】

本考案の効果は等装置に落下したら脱出は不可能となり犯人捕捉が可能。

落下した場合自動通報装置との連動により警備会社又警察への通報ができる。

等装置設置店の従業員は安心して働ける、又客も安心して買い物が出来るので店の繁盛にもつながる、店のオーナーも金品の保護が出来て損害を免れる。

20

夜間の窃盗対策としての防犯にもなる。

これらの各項目が本考案の効果である。

【考案を実施するための最良の形態】

【0006】

本考案を実施するための最良の形態は犯人をスムーズに装置に落下させて、自動通報によりしかべきる場所に通報して犯人を捕捉することである。

設置場所も2箇所とし、レジ前及び出口ドアの手前である。

レジ前での落下が不可の場合、犯人が逃げるドアの手前で落下させる方がより安全であり最良の形態である。

30

事件を未然に防ぐのが本来最良であるので本装置の設置を内外に知らせる印の設置をして公報し、強盗、窃盗の侵入を防ぎ従業員と客の安全確保と店側の金品の強奪を防止する。

これらの事項が考案を実施するための最良の形態である。

【実施例】

【0007】

考案の実施の優先度はコンビニストアである、最近強盗犯罪が頻発している状況である。犯人に殺されている例も珍しくない、それに対して犯罪防止の対策が全くなされていないのが現況である。その原因はこれと言った強盗、窃盗に対する防止策がないからである。

本考案は犯罪防止はもとより、強盗に対して完全に近い形の対策といえる。

40

実施例としてコンビニのレジの前と出口ドアの手前に設置し、2段構えの装置である。

犯罪者がピストルの様な飛び道具で押し入った場合はレジにて金品を渡す、犯人が逃げる際出口ドアの手前で装置に乗った時に操作して落とし穴に犯人を落とす。同時に警察への通報装置が作動し、警官が来るまで犯人を落とし穴に閉じ込めておき、後は警察に引き渡す。

【産業上の利用可能性】

【0008】

本考案は第3次産業の中の小売業、金融業、パチンコ産業等などに於いて強盗犯罪が頻発しており、その対策がないに等しいのが現状である。

この意味より当装置はどうしても欠くべからざるものである。

50

特に現金の受渡しの現場では常に犯罪の危険が存在しており、現実には連日強盗、窃盗犯罪が起きている。その延長線上には被害者の殺傷事件にまで発展している。当装置は比較的に安全を重視しており、産業上の利用の可能性は十分に有するものと判断される。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】落とし穴装置の斜視図 符号1はステンレス製のボックスで、符号2は二枚板で中開き式の割れ目を構成していて、此の部分より犯人を下方に落下せしめる。符号3はコイルスプリングと蝶板を組み合わせる支持軸である。符号4はコイルスプリングで符号2のフロアー部が下方に開いて、犯人を下方に落下せしめた後、スプリングの反発力によりフロアーを元の水平位置に戻し、犯人の脱出を阻止する。符号5は中開きフロアーの下面を支える鉄製のストッパー板で、これを外側に引くことで瞬時に犯人を落下させる。符号6は鉄製のストッパーを保持し且つロックを外す為の機構としてのピン下げ機構とカムと減速モーターを組み込む筐体である。

10

【図2】落とし穴装置の正面図（背面図は対象形の為省略）

【図3】落とし穴装置の左側面（右側面図は対象形の為省略）

【図4】落とし穴装置の平面図（底面図は対象形の為省略）

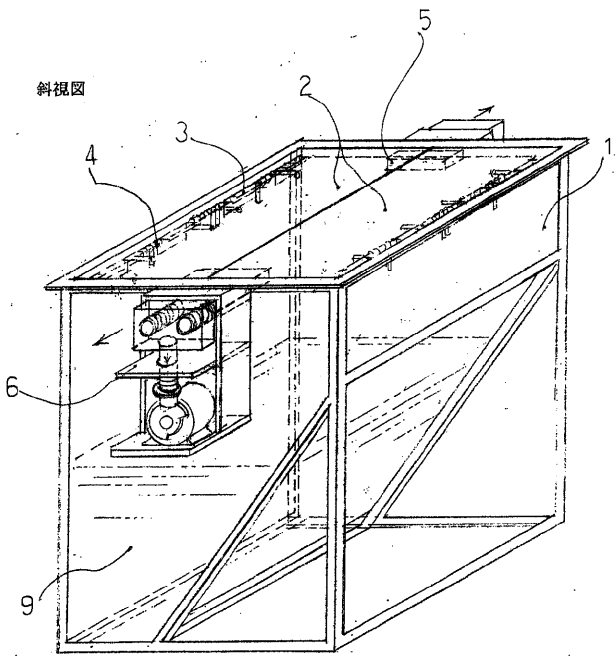
【符号の説明】

【0010】

- 1 ステンレス製ボックス本体。
- 2 内開き式の二枚フロアー部分。
- 3 コイルスプリングと蝶番を連結する軸棒。
- 4 フロアーを開閉する為のコイルスプリング。
- 5 内開きフロアーの下面を支える鉄製のストッパー。
- 6 符号5の鉄製ストッパーを外方に引き抜く為の機構の筐体。
- 7 内開き式フロアーが下方に開いた状況を想像線で示す。
- 8 減速機内蔵モーター。
- 9 貯水槽
- 10 斜め滑り板

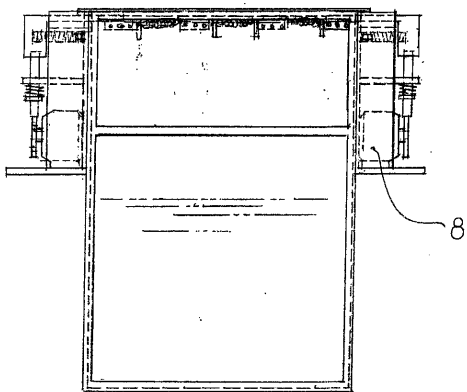
20

【 図 1 】



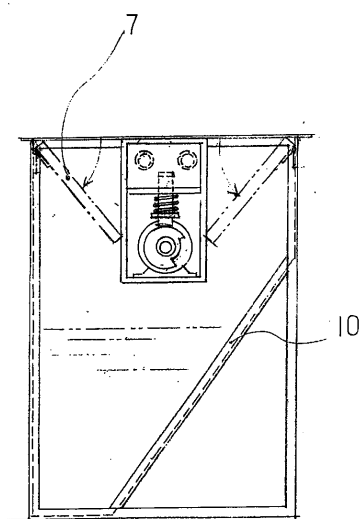
【 図 2 】

正面図



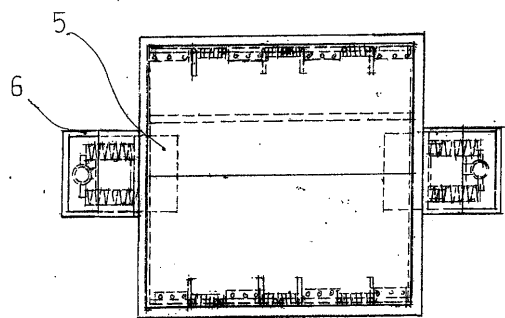
【 図 3 】

左側面図



【 図 4 】

平面図



【手続補正書】

【提出日】平成17年11月29日(2005.11.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】

四角形の枠体の内側にV字形の函体を枠内全体に取付け滑り落ちによる怪我の予防と這い上がり抑止の目的を有する落とし穴装置。

【請求項2】

函体上部に蓋を兼ねた下開き用の2枚板の取付け部に蝶板とコイルスプリングを取付け人が落下した際上部に跳ね上げる事を特徴とする請求項1記載の落とし穴装置。

【請求項3】

落とし穴に任意の水量を溜めておき落下時の衝撃による怪我を防ぐことを特徴とする請求項1記載の落とし穴装置。

【請求項4】

留守時に支え板のロックを外してフリーの状態に保つ電気回路を取付け侵入者が2枚板に乗ると自動的に落下させることを特徴とする請求項1記載の落とし穴装置。

【請求項5】

人が該装置に落下した場合自動通報装置と外部に知らせる警報装置をセットし関係部署に通報することを特徴とする請求項1記載の落とし穴装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【考案の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

落とし穴の技術分野であるがこれを利用して付帯機能備え犯罪に対して絶大な効果を挙げうる技術分野。

【背景技術】

【0002】

本考案は極めて単純明解な技術であるが犯罪への対処と防犯による効果は被害者サイドにすれば身体生命財産の保護の確率は格段に上げることが背景技術にある。

【考案の開示】

【考案が解決しようとする課題】

【0003】

金銭授受の現場で起こる強盗事件は現状防ぎ様が無いが当装置を設置することにより事件は激減する考案はこれらの重大な課題を解決する。

【課題を解決するための手段】

【0004】

考案が解決するたの手段は装置を操作する人の冷静な態度と装置操作に慣れることが大切である。設置場所もレジ前と出口ドアの手前との2箇所にすることが課題を解決するための手段として大切となる。

【考案の効果】

【0005】

考案の効果は当装置に犯人が落下した際に発揮される落ちた場合脱出脱走は不可能となる

。

【考案を実施するための最良の形態】

【0006】

犯人がうまく落とし穴装置の所に来て乗った時又逃走しようと出口ドア前に立った時が本考案を実施するための最良の形態となる。

【実施例】

【0007】

強盗事件が多発する場所において本考案の装置を設置して実施例とする。

【産業上の利用可能性】

【0008】

本考案は現金の授受が日常的に行なわれる商業施設においてその利用可能性は十分にある

。

【図面の簡単な説明】

【0009】

【図1】 落とし穴装置の斜視図

【図2】 落とし穴装置の平面図

【図3】 落とし穴装置の正面図

【図4】 落とし穴装置の左側面図（右側図面は対象形の為省略）

【図5】 落とし穴装置の底面図

【符号の説明】

【0010】

- 1 V字函体を保持する鋼製の枠構成体
- 2 下開き式の2枚板のフロアー
- 3 コイルスプリングと蝶番を連結する軸棒
- 4 2枚板のフロアーの開閉を保持する為のコイルスプリング
- 5 下開き式の2枚板の下面を支える鋼製のストッパー
- 6 符号5の鋼製ストッパーのロックの解除をするスライドの鋼体
- 7 符号6のスライドの鋼体を上下に抜き差しする為のソレノイルド
- 8 V字形の函体

【手続補正3】

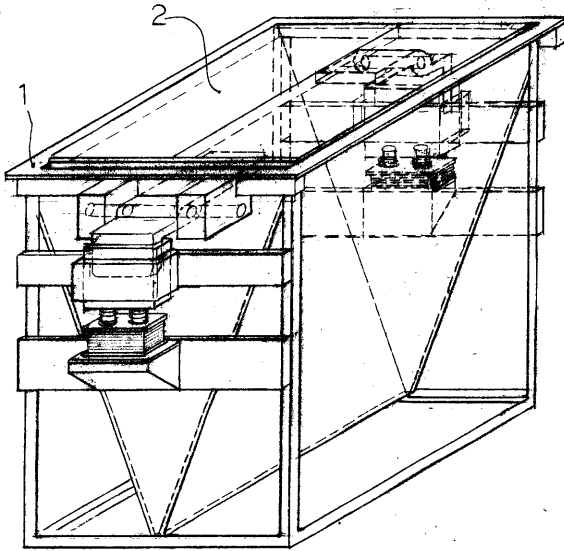
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】全図

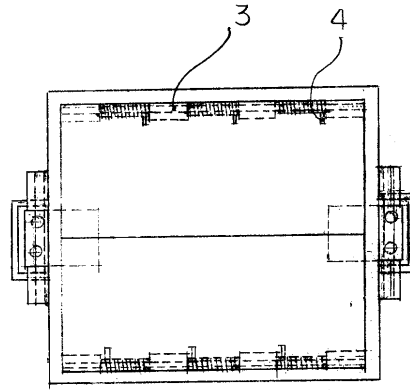
【補正方法】変更

【補正の内容】

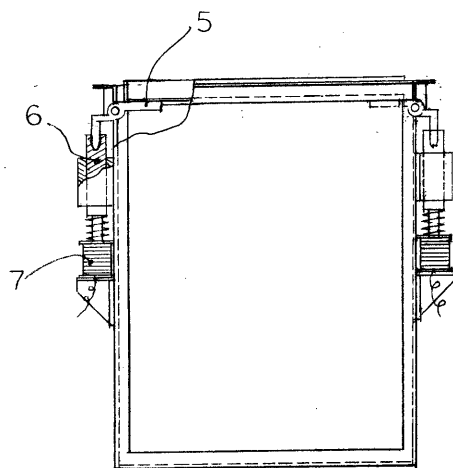
【図 1】



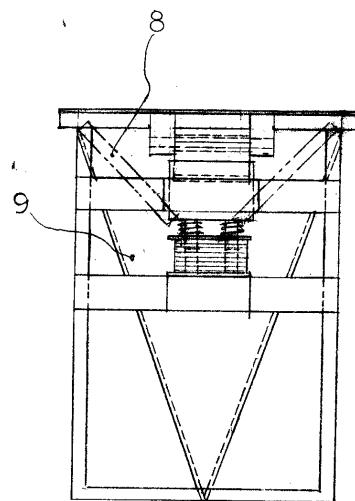
【図 2】



【図 3】



【図 4】



【図 5】

